

終りに、宮部しかさんによって録音された「手まり歌」を紹介しておきましょう。

一 むこうばあさん縁から見れば

菊や牡丹や手まりの花や  
手まりよう来た

あがれとおしゃる

あがれ言葉はかたじけないが

うちの嫁御は

なしてままくわぬ

腹が痛いか夏やせしたか

遂に夏やせしたこたあないが

腹にや八月の子がござる

こな子おろして

誰におわしょうぞ

天下寺町

ちよつとばんさまに預けた

ちよつと百ついた

まだ百つかん

二 向う通るはおせんじやないか

おせんこりゃこりゃ

なして髪とかぬ

くしがないかや油がないか

くしも油もかけごにござる

何が嬉しゅうて

髪ときましよに

とは江戸にいきゃるし

新二郎は死にやる

いとし殿御は

お江戸にいきゃる

お江戸土産に何くすもろた

くしにこうがい八寸鏡

おたいもろたけど

しやない帯で

帯にや短したすきにや長し

切つて捨てより山田薬師より

鐘の音に

ちよつと百ついた

まだ百つかん

(広島女子大学)

幼児の教育 第六十九巻 第六号

六月号 © 定価八〇円

昭和四十五年 五月二十五日印刷  
昭和四十五年 六月 一日発行

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村一ノ一一

印刷所 凸版印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一  
発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所  
フレーベル館にお願いたします